

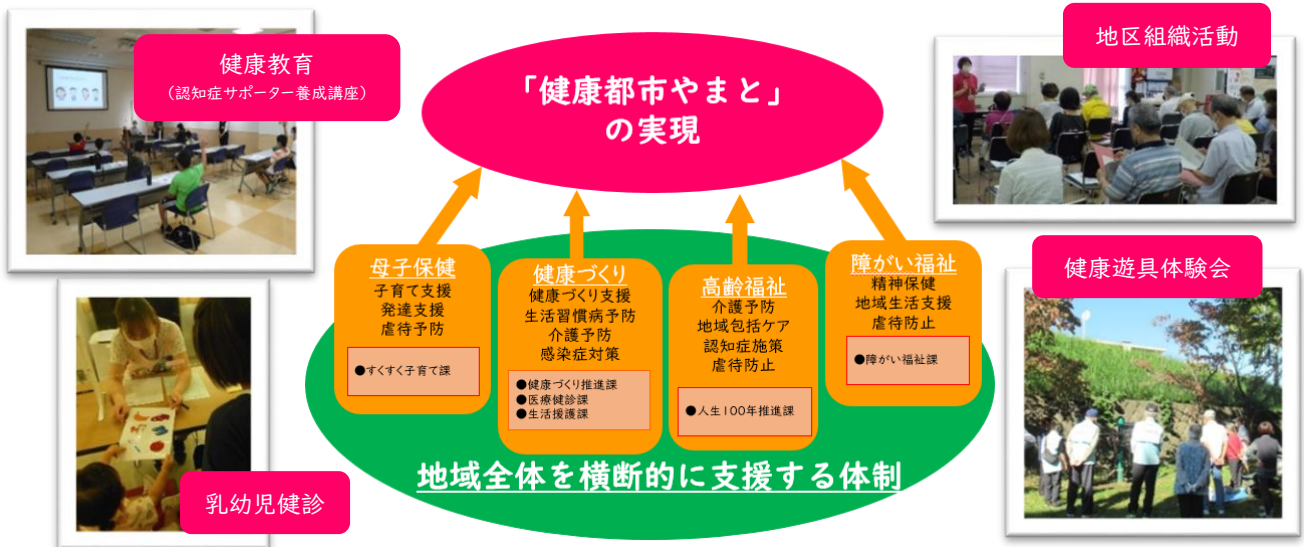
# 大和市の保健師活動

赤ちゃんから高齢の方まで全ての市民が健康で安心した生活を送ることができるよう保健師は積極的に地域に出向いて活動しています。ぜひ、私たちと一緒に働きませんか？

## 1. 保健師の主な配置部署と業務 (令和6年4月1日現在)

保健師の主な配置部署と業務は以下のとおりです。地区分担制と業務分担制の併用で、分散配置の強みをいかし「健康都市やまと」の実現に向け活動しています。

| 部     | 課         | 各課保健師の主な業務   |
|-------|-----------|--|
| こども部  | すくすく子育て課  | 乳幼児健診や赤ちゃん訪問等の母子保健業務、地区の子育て支援活動の推進、児童虐待予防、医療的ケア児の支援等 |
| 健康福祉部 | 医療健診課     | 特定健診・長寿健診、各種がん検診、女性のための健康診査、成人歯科検診、予防接種業務、感染症対策等     |
|       | 健康づくり推進課  | 生活習慣病対策及び介護予防、地区組織活動支援、健診後の重症化予防、保健事業と介護予防事業の一体化等    |
|       | 人生100年推進課 | 介護予防、地域包括ケアシステムの推進<br>認知症施策の総合的推進、高齢者虐待防止等           |
|       | 障がい福祉課    | 障がい者の地域生活支援、こころの健康相談、精神保健福祉手帳・自立支援医療関連業務、障がい者虐待防止等   |
|       | 生活援護課     | 被保護者健康管理支援事業等  |



## 2. 大和市の紹介



- 東京都心から約40km圏内、神奈川県ほぼ中央部位置
- 人口:約24万人      ○面積:27.09 km<sup>2</sup>      ○保健師:約50人
- 交通:私鉄3路線 8駅、東名高速道路、国道16号、246号等

2021年人口増加数 県内2位(全国8番目)  
高い人口密度 県内2位  
高い交通利便性

コンビニエンスストアのようにさまざまな機能がコンパクトに集積



大和市イベントキャラクター ヤマトン

### 3. 文化創造拠点 シリウス (2016年11月 open) の紹介

大和駅そばの図書館を中心とした文化複合施設シリウスは、2022年8月25日に来館者数 1,500 万人を迎えました(新型コロナ前は3年連続で年間 300 万人来館)。

子どもから高齢の方まで多くの市民にご利用いただいている公共施設です。

シリウス4階、健康都市図書館の「健康テラス」「健康度見える化コーナー」では、市の保健師等が健康講座や健康相談を行っています。



【図書館】



【芸術文化ホール】



【生涯学習センター】



【屋内子ども広場】

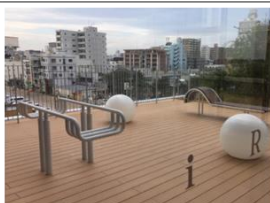
#### 健康都市図書館 シリウス4階



健康に関する図書コーナー



健康テラス(健康講座)



健康遊具



健康度見える化コーナー

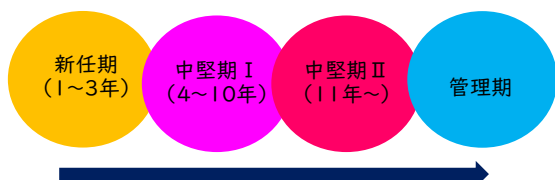
### 4. 強化している取組

大和市では、保健師関連業務として主に以下の取組等を強化しています。

| 取組         | 主な内容  |
|------------|---|
| 子育て支援      | 妊娠を考えた時から、妊娠・出産・子育て期にわたる切れ目のない支援を推進しています。「子育て何でも相談・応援センター」に専任保健師を配置し、「産前・産後サポート事業」「赤ちゃん訪問プラス」「産後ケア事業」等により、安心して産み育てられるよう支援体制の充実を図っています。  |
| 健康づくり      | 生活習慣病対策を強化しています。がん検診等の受診率アップ、糖尿病重症化予防や慢性腎臓病予防等を目的とした訪問活動の充実に取り組んでいます。また、市民の健康意識を高め、市民一人一人が自ら健康づくりに取り組めるようさまざまな予防活動を進めています。  |
| 介護予防・認知症施策 | 介護保険法に基づく地域支援事業(地域包括支援センター、総合事業、在宅医療・介護連携推進事業、協議体等)の充実を図っています。また、平成28年の「認知症1万人時代に備えるまち やまと」宣言に込めた理念を発展させ令和3年に「大和市認知症1万人時代条例」を制定し、認知症サポーターの養成、認知症カフェや認知症相談・介護者交流会の開催、認知症初期集中支援チームによる支援等、認知症施策を推進しています。 |

(注)採用者の配置部署を限定するものではありません

### 5. 保健師の人財育成



新採用職員研修等市役所職員としての研修に加え、市や県の保健師研修等もあり、スキルアップを図ることが出来ます。また、市保健師の組織横断的な取組みで、地区把握や災害時保健活動の検討、事例検討等も行い、顔の見える関係づくりに努めています。